

中札内村総合行政推進委員会 第4回委員会 会議録

日 時 令和7年3月24日（月） 19:00～19:50
場 所 農村環境改善センター 2階大集会室
出席委員 桑田尚行、杉本啓子、嶋崎直子、鳥倉華以、林理央、佐久間正、杉本伸子
長谷部早苗、後藤友太、井川晃博、佐藤孝志、渡邊 環（12名）
欠席委員 下埜智加、佐藤裕二、加藤成孝、荻原精一（4名）
事務局 総務課長 中道 真也、総務課長補佐 下浦 強、総務課主査 金沢 愛

議 事

1 開会

（中道課長） ご案内の時間になりましたので、会議を開催させていただきます。年度末の大変お忙しい中、第4回総合行政推進委員会に出席いただきまして誠にありがとうございます。本日の議題は、報告事項が2件となっております。それでは、桑田会長からご挨拶をお願いいたします。

2 会長あいさつ

（桑田会長） 年度末、また決算期で大変お忙しい時期にお集まりいただきましてありがとうございます。円滑な議事進行を目指してまいりますので、皆様のご協力をお願いいたします。午後8時半までには終了したいと思います。

3 報告事項

① 第3期中札内村総合戦略（案）のパブリックコメントの結果について

（下浦補佐） 資料1をご覧ください。本委員会で皆様にご審議いただいた第3期中札内村総合戦略（案）について、1月21日から2月12日の日程でパブリックコメント（住民からの意見公募）を実施したところ、1名の方から4件の意見が提出されました。いただいたご意見の内容と村の考え方を示したものが、本資料となります。

ご意見については、総合戦略（案）において施策の趣旨をすでに記載済みであることから、案のとおりで変更なしとします。

これによりパブリックコメントを終えたため、令和7年度から5年間の「第3期中札内村まち・ひと・しごと創生総合戦略」として、正式に策定しましたのでご報告します。

（桑田会長） ご意見・ご質問があればお願いします。

（委 員） 意見の提出者数が1名ということで、すごく寂しい気がします。せっかく実施するからには、効果があるべきだと思います。パブリックコメントの実施の仕方が課題なのか、村民がこのようなことに対して全く興味がないのか。パブリックコメントの実施方法の改善が必要なのではないかと思いました。

（下浦補佐） 行政の各種計画案についてパブリックコメントを実施する場合、それほど多くのご意見をいただけていないのが実態です。意見募集の仕方に工夫の余地があり、

現在でもSNSを活用するなど広く公募はしていますが、さらに幅広い意見を寄せていただける方法を、村としても考えていく必要があると考えており、課題点としてとらえています。ご意見ありがとうございました。

② 未来のむらを語る座談会の開催結果について

(下浦補佐) 資料2をご覧ください。令和7年2月27日に、第7期まちづくり計画の後期基本計画策定に向けた「未来のむらを語る座談会」を開催しました。

無作為抽出により300人の方にご案内したところ、13人の方から申し込みがあり、当日は12人の参加がありました。貴重な機会ということもあり、役場の若手職員10人も参加し、合計22人での座談会となりました。

なお、無作為抽出の300人の中には、本委員会の委員も入っており、当日は1名の方に参加いただきました。

4チームに分かれ、「望む未来をつくるために必要なこと」と題して、「まちづくりの視点」と「男女共同参画の視点」の2つをテーマに話し合いました。

各チームから出された意見は2ページから3ページに、各チームで模造紙にまとめた内容は4ページから7ページに記載してあります。

ここで、少しお時間を取りますので、座談会の結果報告書を読んだ感想やご意見について、3班に分かれて自由に話してみてください。

最初に、当日参加した委員から感想をお願いします。

(委員) 当日は和気あいあいとした雰囲気で、皆さんが意見を活発に出していました。最初は「まちづくり」と「男女共同参画」は全く別のことだと思っていましたが、話し合ううちに、家庭でそれぞれの役割を果たす中で、まちづくりに大きな影響を及ぼし得るということが分かりました。皆さんも今から話し合う際に、これらがどのように融合し相互作用し得るかという視点を入れることで、面白い視点が生まれるのではと思っています。

<3班に分かれ、20分程度話し合い>

1班 林委員、杉本啓子委員、佐藤孝志委員

2班 佐久間委員、長谷部委員、嶋崎委員、鳥倉委員

3班 杉本伸子委員、井川委員、渡邊委員、後藤委員

(発表① 委員)

ふらっと立ち寄れる場所が村の中で少なくなったという話になりました。偶発的・自然発生的な出会いの場所や、交流の機会が少なくなる冬の間に皆が集まって会話を楽しめるような場所があったら良いです。利用料金が安く、知り合いに気軽に会える場所が理想です。場所の話をしていううちに、場所も大切ですが、まちづくりの根底には人とのつながりが育まれるようなものづくりが大切だという話に展開しました。

まちづくりについて色々話し合う機会がありますが、人が話し合う場所、繋がれる場所を私た

ちが大切にすべきだという話になりました。パブリックコメントで意見を吸い上げるときに、紙で提出することも方法としてあるかもしれませんが、今回のように、人とのつながりを通して、お互いが気持ちと意見を共有できる場のプロセスの中で、役場の方々がその間に入って意見を吸収していただければ、効果的な意見聴取の方法になるのではないかという話になりました。

(発表② 委員)

交通手段に不安があるとの意見が出ました。高齢になり免許を返納した後に、バス停まで歩けない人が、安心して暮らせるのかという不安が出されました。

高齢者の民間バス運賃助成制度もありますが、制度について十分把握できていなくて、活用するイメージが沸かないという声がありました。

報告書のチーム2の意見にもあった「子育て世代、高齢者へのサポートはあるが、中間層へのサポートもほしい」との意見が出ました。子育て世代や高齢世代には手厚いですが、その間の中間層への支援が薄いのではという意見が出ました。

今回配付された商品券は、1世帯につき1万円の定額でしたが、家族の人数が多い世帯はそれだけお金もかかるため、1万円では不足しています。家族の人数に基づいて支給したほうが、平等さがあるのではという意見が出ました。

その他は、中心市街地の空き家の活用について出されました。中心市街地に活気がありません。店舗に駐車スペースが不足していて集客しにくいとため、改善したほうが良いと思います。

また、若い世代が助成制度を活用して、既存店舗を上手く活用して新しい事業を起こせるように、もう少し手厚く助成してもらえれば、移住者も含めて活性化するという意見が出ました。

(発表③ 委員)

交通手段について、移送サービスやくるくる号など、小さな村にもかかわらず色々な施策を展開されていますが、デマンド運行が必要だという話が出ました。村では、80歳や90歳を過ぎても、特に農村部の方は車を運転する方が多いようです。まだ大きな事故はありませんが、危険だと感じています。

夢という（移送サービス）は利用者からするとすごく助かっており、親切で良いという声があります。お年寄りの利用だけでなく、ちょっと飲みに行きたいという需要もあります。お金を払ってでも乗りたい人がいるため、そのような交通手段があると村内も活性化するという話が出ました。

村中心部の空洞化がもったいないという意見が出ました。管内第2位の入込数を誇る道の駅や、マックスバリュ、農協直売所はにぎわっていますが、その間のメインストリートが寂しいです。村の施策でメインストリートを整備すると良いのではないのでしょうか。

六花の森、美術村、エアポートスパなど、素晴らしい観光地はありますが、それらを繋ぐものがないため、何か大きな施策が必要ではないかという話が出ました。

更別村と医療に関する連携をしていて、高齢者にとって住みやすく、外からは見えにくいですが、住んでいて安心感があります。

若い人がふらっと寄りたい場所、衣料を買う場所がありません。

賃貸住宅はたくさんありますが、単身者向けが多く、世帯向けのマンションが少ないです。村は「住」の面をもう少し力を入れてはどうでしょうか。

中札内村は空港からこんなに近い立地条件なのに、車がないと村へ来ることができません。タクシーや送迎バスなどがあると良いです。

(桑田会長) 他に補足する意見はありますか。

(委員) メインストリートをもう少し整備できないでしょうか。空き家や、住宅が建っていない土地があるため、村がどんどんあっせんして、メインストリートに住宅を建ててもらった方が良いと思います。

車で走っていてもあまり綺麗ではないと感じるため、住んでいない建物には村でお金かけて外壁に色を塗るなど、見た目だけでもきれいにできないでしょうか。

その他、中札内村に行ったらこういう大会がある、それを目的に来てもらえるような、目玉になるような競技があれば良いと思います。幕別町の産業まつりでは、カボチャ投げ大会を開催していました。村は「枝豆飛ばし大会」のような、特産品を活用したイベントを何か一つ考えて、お祭りに合わせて開催すると良いのではと思いました。

(委員) ㈱AOILO さんが開催しているモルック大会に参加したことがあります。遠方から何時間もかけて来ている人もいました。今の話を聞いて、話題性のある競技を取り入れるのも手かと思いました。

(委員) ドライバーが高齢化しており、あと5年もすればドライバーがいなくなります。5年以内に後継者が育つかと言えば、正直厳しいと思います。せっかく住民へのサービスは残したいと思っていても、70歳になって運転できるかと言えば、逆に利用する側になってしまいます。

村が民間企業へ指定管理に出すのも良いのですが、指定管理は牧場など他にいくつもあります。指定管理するにしても、長い目で考えたときに、指定管理を受けた企業が存続できなければ、村の事業が駄目になってしまいます。先行きに対して投資するのは難しいと思いますが、そこは検討してほしいと思います。

4 その他

(下浦補佐) 今年度は4回の全体会議と、財政部会、まちづくり部会を各1回開催しました。

来年度の会議は、令和8年度から令和11年度までの4年間の「まちづくり計画後期基本計画」の策定が主な議題となります。4月以降、会議の日程が決まりましたら、随時ご案内します。

最後に1点、報告事項があります。東戸蔭にある中島農業センターについてです。4月から、これまで資料室としていた部屋を相談室として開放し、1時間200円で使用できるようになります。利用される機会は少ないかもしれませんが、情報提供させていただきます。

(桑田会長) 以上をもちまして、本日の総合行政推進委員会を閉じます。長時間にわたり、大変お疲れ様でした。

(閉 会) 19時50分